

東海中高父母懇談会40周年記念祝賀会

2023年12月11日(日)に、東海中高父母懇談会40周年記念祝賀会が、名古屋マリオットアソシアホテルにて開催されました。当日は、総勢180名を超えるゆかりの皆さまにご参集いただきました。学園からは、佐藤泰年東海中高校長、近藤辰巳東海学園高校校長、稲森裕之東海中学教頭、井上勝憲東海高校教頭、鬼頭茂成東海中高同窓会副会長をお迎えし、東海中高の現役・OBの先生方にも32名ご参加いただきました。愛知父母懇からは、柴田千春愛知父母懇会長代行、山田肥名子愛知父母懇OB会理事長、寺田京子私学助成をすすめる会会長をはじめとした皆さまにご臨席いただきました。

東海中高父母懇談会の誕生は、1982年11月に約1000名の父母と教員が集った教育集会です。以来10年ごとに記念誌『あゆみ』を刊行し、節目を飾る祝賀会を開催してきました。10年前とは異なりコロナ禍のなかでの開催となり影響が心配されましたが、感染防止対策を行いつつ無事に開催することができました。

➡当日は次のような流れで会が進みました。➡



開場直前の会場の様子

★式次第★

1. 開会の挨拶
安達小織 40周年記念事業実行委員長
2. 音楽の調べ①
井原義則先生・ピアノ:岡戸弘美先生
3. 来賓挨拶①
佐藤泰年 東海中学・高校校長
4. 来賓挨拶②
日比野久 愛知父母懇談会会長
5. 来賓挨拶③
寺内義和 愛知私教連相談役
6. 乾杯
鬼頭茂成 東海中高同窓会副会長
7. 映像で見る東海父母懇40年のあゆみ
8. 音楽の調べ②
ピアノ : 川合諄先生
オーボエ: 馬塚智也先生
9. お祝いの言葉①
仲井真司 愛知私教連委員長
10. お祝いの言葉②
山田肥名子 愛知父母懇談会OB会理事長
11. お祝いの言葉③
鬼頭冨香 元東海中高父母懇談会父母代表
12. お祝いの言葉④
西村尚登 元東海中高父母懇談会教員代表
13. 記念誌『あゆみ』刊行にあたって
加藤佳世 編集委員長
14. お礼の挨拶
和田啓子 父母代表
北村雅臣 教員代表

【当日の様子をご紹介】

受付開始の午後5時過ぎから出席者の方々が続々と会場に到着され、受付付近のいたるところでご挨拶がはじまり、まさに久闊を叙す光景が繰り広げられました。会場が再会を寿ぐ親しさあふれる雰囲気であふれるなか、午後6時に笠行裕文先生・深谷早智子さんの司会で開宴となりました。

冒頭には、40周年記念事業実行委員長、安達小織元父母代表のご挨拶がありました。これまでの歴史を振り返りながら、40年の節目を迎えられることへの感謝と喜びをお話いただきました。

続いて音楽の調べ①では、父母懇サークル・アイデアレの指導をされている声楽家・井原義則先生とピアニスト・岡戸弘美先生による『よかった』の独唱が披露されました。曲のタイトルにもあるように、父母懇が40年の時を積み重ねてゆかりの皆さまとともに節目を祝うことができ「よかった」としみじみ感じられる、優しさと温もりいっぱいの伸びやかな歌声に会場は包まれました。

来賓挨拶の段では、佐藤校長先生から父母懇40周年への祝辞が述べられ、子育てを行ううえで親の寛容さについて説かれました。また、愛知父母懇の日比野久会長は当日ご欠席でしたが、柴田千春会長代行が快活な声で丁寧に原稿を代読されました。会長ご自身のお母様が初代父母代表を務めておられたご縁を振り返りながら、父母懇活動に献身する姿と崇高な理念への敬意が語られました。また、東海父母懇は愛知父母懇のリーダー的存在として他学園の手本となっており、40年にわたって活動が継続されているのは「行くと楽しい、行くと成長を感じられる」場であるからと述べられ、今後の発展へのさらなる期待も表明されました。寺内義和愛知私教連相談役のご挨拶では、愛知私教連の大きな運動の柱のひとつ父母提携が、東海でどのように生まれて継承されてきた



かを、ゆかりの先生方の功績に言及しつつ振り返り、東海父母懇の足跡を讃えていただきました。来賓紹介に続いて、衆議院議員今枝宗一郎様からの祝電も披露されました。

乾杯のご発声は鬼頭茂成同窓会副会長に務めていただき、各テーブルでの歓談が始まりました。

歓談中には、「映像で見る東海父母懇40年のあゆみ」スライドショーが上映され、元東海父母懇父母代表で、愛知父母懇にも大きな足跡を残された故中川初枝さんをはじめとしたゆかりの皆さまの懐かしい姿が次々と映し出され、40年の時の流れに思いを馳せる時間となりました。



後半では、川合諄先生(高校理科)と馬塚智也先生(中学社会科)によるピアノとオーボエの演奏が行われました。サン・サーンス「オーボエソナタ」より第一楽章、エンニオ・モリコーネ「ガブリエルのオーボエ」の2曲が披露されました。オーボエの繊細で琴線に触れる見事な音色が、美しいピアノ伴奏と相まって、贅沢な音の調べに包まれました。



お祝いの言葉の段では、仲井真司愛知私教連委員長に、オータムフェスなど私学助成運動における東海父母懇の絶大な貢献への賛辞と感謝を語っていただき、世代を越えて父母提携のバトンが引き継がれている点を高く評価するメッセージが送られました。山田肥名子愛知父母懇 OB 会会長からは、東海父

母懇の思い出や父母懇活動の喜びについて語られました。鬼頭富香元父母代表からは、東海と淑徳の両父母懇を経験し、父母懇のありがたさを痛感したエピソードを披露しながら、父母懇活動の意義について染み入るお話をしていただきました。西村尚登先生からは、佐藤校長先生とのご縁や、リニア開業や公立一貫校導入などの情勢を踏まえつつ、学園の将来に向けた期待が表明され、父母懇活動の担い手の方たちへのエールが送られました。

続いて、40周年記念誌『あゆみ』編集委員長を務めた加藤佳世前父母代表から、『あゆみ』刊行に向けて込めた思いが語られ、ぜひ手に取っていただきたいとの挨拶がありました。締めくくり、父母代表和田啓子さんから、愛知父母懇の先進性への誇りと、東海父母懇に向けられた温かい眼差しへの感謝が表明されました。教員代表北村雅臣先生からは、学園、愛知父母懇、愛知私教連、他学園、そして「ひとりぼっちの父母をつくらない」スローガンに共鳴し、東海父母懇とご縁を結んでくださったすべての方への感謝と、平和とともにある子どもたちの輝かしい未来を祈念する旨が語られました。

【最後に】

このように東海父母懇とご縁を結んでくださった皆さま同士が、40年にわたる足跡を確認しながら、和気藹々と語り合う楽しい時間となりました。地域幹事の皆さまにも多数ご参加いただき、父母懇の広がりとお行きに触れていただけた時間となりました。この節目を起点として、次の10年に向けてまた新たな歩みを進めていきたいと思っております。皆さまのご尽力にあらためて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



編集後記

2022年の東海父母懇は晴れやかな祝賀会の思い出で締めくくることが出来ました。祝賀会ではおいしいお食事と父母懇のお仲間や地域の父母の方、そして先生方との尽きることない楽しいおしゃべりであっという間に時間が過ぎてしまいました。そして、2023年も素敵な東海父母ライフを過ごしたいです。

～今年度限定!「広報部長のつぶやき」～

『祝40周年』

種から芽が出て大きな木となり実を結ぶ。

人々の手により実はどんどん大きくなる。

次は、その実を多くの人たちと分かち合うことで喜びや安心が生まれ、さらに多くの人たちとともに成長していく。

迷い、学び、戸惑いながらも一生懸命あゆみ、引き継がれてきた活動。

さらに進化しているであろう10年後の姿が今から楽しみです。